

図書だより ライブラリーニュース
Library News

平成 30 (2018) 年 9 月
府中市立府中第八中学校
図書室担当 粟谷千衣子

二学期が始まりました。このところ、急に秋めいてきました。間もなく、読書の秋です。2年生が国語の時間にビブリオバトルをやっています。ビブリオバトルは「人を通して本を知る 本を通して人を知る」本の紹介コミュニケーションゲームとされています。やってみた感想をぜひ聞かせてください。また、チャンプ本やバトルのなかで興味を持った本を読んでみましょう。他の学年のみなさんも夏休み中に読んだ本の感想を聞かせてください。

月々に月見る月は多けれど
月見る月はこの月の月
詠み人知らず

今年の中秋の名月は九月二十四日です。
中秋の名月は太陰太陽暦の八月十五日の
夕方に出る月です。

上記の和歌の“月”には moon と month を表す月があります。それぞれの月が、どちらの月を表すか考えてみましょう。また、この和歌には、全部で8個の月がありますが(月々の々も月として)、中秋の名月と言われる八月十五日の八月を、月を8回使って表した遊び心がある歌とされています。どんな遊び心のある人物がこの和歌をつくったのか、想像してみるのも楽しいです。

7・8月の図書室 (開館日数 13日)

入館者数 819 人 (1日平均 63人)

	男子	女子	合計
1年生	159	189	348
2年生	116	205	321

貸し出し冊数 896 冊

学年毎の上位クラス

 1-C 280	2-C 129	3-E 25
1-B 28	2-G 62	3-F 25
1-A 26	2-B 55	3-B 24

9月のこよみから

9月1日は防災の日

防災の日は、1960年に前年9月の死者・行方不明者五千人以上という大きな被害をもたらした伊勢湾台風を契機に、広く国民一人一人が台風、高潮、津波、地震などの災害について認識を深め、これに対処する心構えを準備しようと創設されました。この日は1923年に関東大震災が発生した日であり、また暦の上では立春から数えて二百十日にあたり台風襲来の時期と言われる日でもあります。

八中では防災学習が行われています。図書室でも防災学習に役立つように関連図書の背表紙に右のようなラベルを貼っています。ぜひラベルを目印に手に取ってみてください。



8・9月生まれの作家たち

(生まれ年の上に*がある作家は、旧暦あるいはユリウス暦での誕生日を表しています。)

1日 室生犀星(1889)	7日 司馬遼太郎(1923)	18日 伊藤左千夫(1864)	28日 ゲーテ(1749)
2日 木下順二(1914)	9日 T.ヤンソン(1914)	23日 三好達治(1900)	トルストイ(1828)
5日 モーパッサン(1850)	11日 吉川英治(1892)	24日 若山牧水(1885)	30日 V.L.パートン(1909)
壺井栄(1899)	13日 あまんきみこ(1931)	27日 宮沢賢治(1898)	
1日 幸田文(1904)	13日 ロアルド・ダール(1916)	17日 正岡子規(1867)	25日 魯迅(1881)
6日 星新一(1926)	14日 あさのあつこ(1954)	20日 H.G.ウェルズ(1866)	24日 筒井康隆(1934)

未来を予見したような小説を書いたショートショート的神様 星 新一 (1926~1997)

1926(大正15)年、現在の東京都文京区本駒込に星製菓の創業者・星一の長男として生まれる。本名は親一。母方の祖父は東大名誉教授の小金井良精、祖母は森鷗外の妹・喜美子で、ふたりに可愛がられて育ち、話し相手といえバクマのぬいぐるみだったという。1951年、東大大学院で農芸化学を研究中に父が急逝。大学院を中退して会社を継ぐも、当時星製菓は経営が悪化しており、破たん。その処理に追われた。日本の有名な作家としては稀有な上場企業社長経験者である。その後病床で読んだレイ・ブラッドベリの『火星年代記』に感銘を受ける。1958年SF同人誌『宇宙塵』に発表した『セキストラ』が江戸川乱歩編集「宝石」11月号に転載され日本SF文学の旗手として脚光を浴びる。原稿用紙10枚程度のショートショートと呼ばれる小説形式を得意とし、当用漢字しか用いない平易な文章、時事風俗や固有名詞、性や殺人を描かない透明感のある作風は年齢性別国籍を問わず広い読者層に支持された。冷戦を扱った作品が米ソ両国で読まれていたことは、作品の普遍性の高さを示している。1983年秋にショートショート1001編を達成。晩年は余計な描写や形容をすべて削ぎ落とした民話のような作品を書き、これまでのショートショートについても「ダイヤルを回す」「電話をする」に直すなど、少しでも長く読み継がれるよう時代とともに古くなる表現の改訂作業に取り組んだ。1997年12月30日没す。作品は20言語以上に翻訳され、世界中で読まれている。

夏休み特別貸出の本の返却日は**9月4日**でした。まだ返却していない人は、至急返却してください。一学期に督促状を受け取ってまだ返却していない人も忘れずに！

引き続き借りたい時は、図書室に来て、延長の手続きをしましょう。

図書室の本は八中生みんなの本です。マナーを守りましょう。



1年生 国語 古典 竹取物語

1年生が国語の時間に古典の竹取物語を学習しますが、その前に月をテーマにした古典文学に親しむ授業をしました。そこで、図書室では、自然科学の月の本やタイトルに月がある本などを展示しています。ぜひ、この月が美しい季節に手に取ってみてください。次に紹介する本もおすすめです。

『竹取物語』

星 新一 訳 角川書店 913/夕

SF小説作家の星新一氏による現代語訳。解説で星さんは「心がけた第一は、できるだけ物語作者の立場に近づいてみようとしたこと。」と言っておられ、とても読みやすい『竹取物語』です。そして、各章の終わりに補足がついていて、楽しく読める『竹取物語』です。

『いまはむかしー竹取異聞一』

安澄 加奈 著 ポプラ社 913/ア

時は奈良に都があったころ。武族の家の嫡男なのに武官になるのがイヤで家出中の弥吹。彼はかぐや姫を守る「月守」の少年、阿生と輝夜に会う。ふたりはかぐや姫の命により、蓬萊の玉の枝や竜の首の珠などの五つの宝をさがして旅をしているという。宝は見つかるのか…。

きて！みて！よんで！！

追悼 さくらももこさん

もうすぐ夏休みも終わりという時に突然舞い込んだ漫画家・さくらももこさんの訃報に、みなさん驚き、哀しんだことと思います。アニメ『ちびまる子ちゃん』は国民的アニメとされています。今でこそ、コミック・エッセイというジャンルは当たり前のようにありますが、さくらももこさんが描いた『ちびまる子ちゃん』により漫画で描かれたエッセイが世の中に広く受け入れられたのだと思います。さくらももこさんが、“エッセイ漫画を描いてみてはどうだろうか!!”と思いついた日のことは『ひとりずもう』（小学館 914/サ）の中で語られています。2年生の国語の教科書には、『あそこ』（集英社 914/サ）が紹介されています。図書室に漫画はありませんが、エッセイは数冊ありますので、ぜひ、どうぞ。

ミライ型学力養成講座 を読もう！

図書室では読売中高生新聞を購読していますが、月に一度、未来型学力養成講座が連載されています。2020年から実施される「大学入学共通テスト」を見据えての連載講座です。大学入試と聞いて、まだ関係ないと思わないでください。この連載で題材とされているのは、難関都立高校の推薦入試の問題です。勉強や入試に関連した本のコーナーにファイルを並べています。ぜひ、読んで、自分ならどう答えるか考えてみましょう。

さあ、新学期！

『中学生の悩みごと』

高濱 正伸・大塚 剛史 著 実務教育出版 159/夕

副題は「だれもが直面することだけど人には言えない」とあります。中学生たちに、しあわせな大人になって欲しいと、願う著者が、100の悩みにQ&A形式で、わかりやすく答えてくれています。

『友だち幻想一人と人のくつながり』を考える』

菅野 仁 著 筑摩書房 361/カ

ピースの又吉直樹さんがテレビで紹介したのをきっかけに広く知られるようになった本ですが、出版は10年前で、残念なことに著者はすでに故人です。でも、人との距離に悩む人には参考になる本だと思います。

『昆虫部』

梶本 孝思 著 幻冬舎 913/ス

高1の小栗颯太郎は、「くだらねー」「つまんねー」「やる気しねー」と毎日を過ごしている。そんなある日、他クラスの女の子に「昆虫部に入って欲しい」と頼まれる。部長はいじめられっ子の航平だというのが…。好きなことに夢中になるって悪くない!! 各章ごとに昆虫の解説あり。

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』

こまつ あやこ 著 講談社 913/コ

この不思議なタイトルは、マレーシア語。中2の沙弥は二学期の始めにマレーシアから二年半ぶりに戻ってきた。学年の途中で、しかも帰国子女として編入したので、クラスで浮かないようにと必死の日々。そんな彼女は、ある日、怖い3年生からギンコウに誘われ…。リマは5、トゥジュは7。タイトルを日本語でいうと5・7・5・7・7。

9月17日は敬老の日

『こんとんじいちゃんの裏庭』

村上 しいこ 著 小学館 913/ム

認知症の症状が進むじいちゃんが交通事故で意識不明に。その上、じいちゃんの信号無視による事故だからと相手先の車の修理代の請求書が届いた。じいちゃんが、そんな違反をするはずがない！大人への反発から引きこもっていた中3の悠斗は、真相を求めて動き出すが…。

『おばあちゃんの記憶』

エルヴェ・ジャウエン 著 さ・え・ら書房 953/ジ

記憶障害のため一人暮らしが難しくなったおばあちゃんを家に引き取った時、13歳のヴェロは、おばあちゃんのトランクをうけついだ。そこには、おばあちゃんの過去の証があった。ヴェロは、大好きなおばあちゃんが記憶を失くすことを憂い、その記憶をうけつぐことに…。